

# 学校における働き方改革の着実な推進について

令和6年8月1日（木）

県教育庁働き方改革推進課

# 1 学校における働き方改革は、

- どこを目指すのか？

- なぜ、推進するのか？

- どのように、推進するのか？

# 2 学校における働き方改革の着実な推進に向けて …

何のために

“学校における働き方改革”

を推進するのでしょうか？



学校における働き方改革の目指す方向性は？



「みんなの学校!ピースフル・プラン」リーフレット版

これから3年間!  
新しいプランで進めよう!!



「学校における働き方改革」の目指すべき方向性

教職員のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の改善を図ることで教職員の健康を守ることはもとより、日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど、教職員のウェルビーイングを確保するとともに、自らの人間性や創造性を高め、**子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすること**です。

令和6(2024)年3月  
沖縄県教育委員会

みんなの学校!ピースフル・プラン(全体版)はこちら

<https://www.pref.okinawa.jp/kyoiku/edu/1008490/1008491/1008508/1024388/1027590.html>



[https://www.pref.okinawa.lg.jp/\\_res/projects/default\\_project/\\_page\\_/001/027/590/2024peacefullplanleaflet.pdf](https://www.pref.okinawa.lg.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/027/590/2024peacefullplanleaflet.pdf)

## 「学校における働き方改革」の目指すべき方向性

教職員のこれまでの働き方を見直し、長時間勤務の改善を図ることで教職員の健康を守ることはもとより、日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど、教職員のウェルビーイングを確保するとともに、自らの人間性や創造性を高め、**子供たちに対してより良い教育を行うことができるようにすること**です。

子どもたちへのより良い教育

学習指導要領前文（平成29、30年改訂）

## 学習指導要領前文（平成29、30年改訂）

これからの学校には.....（略）

**一人一人の児童（生徒）**が、  
**自分のよさや可能性を認識**するとともに、  
あらゆる**他者を価値のある存在として尊重**し、  
**多様な人々と協働**しながら  
様々な**社会的変化を乗り越え**、  
**豊かな人生**を切り拓き、  
**持続可能な社会の創り手**となることが  
できるようにすることが求められる。

# ■ 学校における働き方改革は、どこを目指すのか？

## 沖縄県教育振興基本計画より（抜粋）

### （1）基本的な考え方

- ◎ 個性の尊重を基本とし、国及び郷土の自然と文化に誇りを持ち、創造性・国際性に富む人材の育成と生涯学習の振興を図る。

▶ 「人こそが最大の資源」

### （2）教育の目標

自立した学習者の育成

- ✓ 自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力とねばり強さをもつ幼児児童生徒を育成する。
- ✓ 平和で安らぎと活力ある社会の形成者として、郷土文化の継承・発展に寄与し、国際社会・情報社会等で活躍する心身ともに健全な県民を育成する。
- ✓ 学校・家庭・地域社会の相互の連携及び協力のもとに、時代の変化に対応し得る教育の方法を追究し、生涯学習社会の実現を図る。

## 学校からの声 本県の現状『学校における働き方改革アンケート(2023)』より



小学校教諭

念願の教員になり、その仕事は素晴らしいです。子どもに関わることができて幸せです。しかし、**仕事が多すぎて、なかなか定時に帰れません**。誰も教材研究を無くしてほしいとはいいません。教師として、子どもたちに本当に必要なものを知っているからです。後輩達にもその素晴らしさを伝えられるよう、早急な業務内容の精選をお願いしたいです。

教師という職業にしかない魅力は多く、素晴らしい職業だと思っています。しかし、その**魅力を上回るほどの負担**があるように感じています。少しでも多くの業務が改善され、先生方の負担が軽くなり、生徒と向き合い関わる時間が増えることを望んでいます。



中学校教諭



高等学校教諭

教職員の本来の業務は授業や生徒の育成であるはずなのに、**それ以外の業務の量が多すぎて授業準備・改善に集中できません**。1人当たりの業務量を減らすために業務の大幅削減などが早急に必要と感じています。

教員の働き方改革は、生徒の学習と切れない問題だと思っています。生徒の多様な学びを保障するためには教員の多忙が改善されなければ難しい。人員の増、専門家の活用、地域との連携、どれをとってもお金をかけずに、**善意に頼っている間は解決は難しい**のではないのでしょうか。



特別支援学校  
管理職



## ■ 学校における働き方改革は、どこを目指すのか？

# 子どもたちへのより良い教育を行う

## 教職員に時間と機会の創出が必要

- ✓ 職場での**良好な人間関係**
- ✓ **ゆとりある時間**
- ✓ 児童生徒との**信頼関係**
- ✓ **研修や教材研究等の充実**
- ✓ **安全・快適な職場環境の形成**
- ✓ **長時間勤務の改善**
- ・・・ 等々

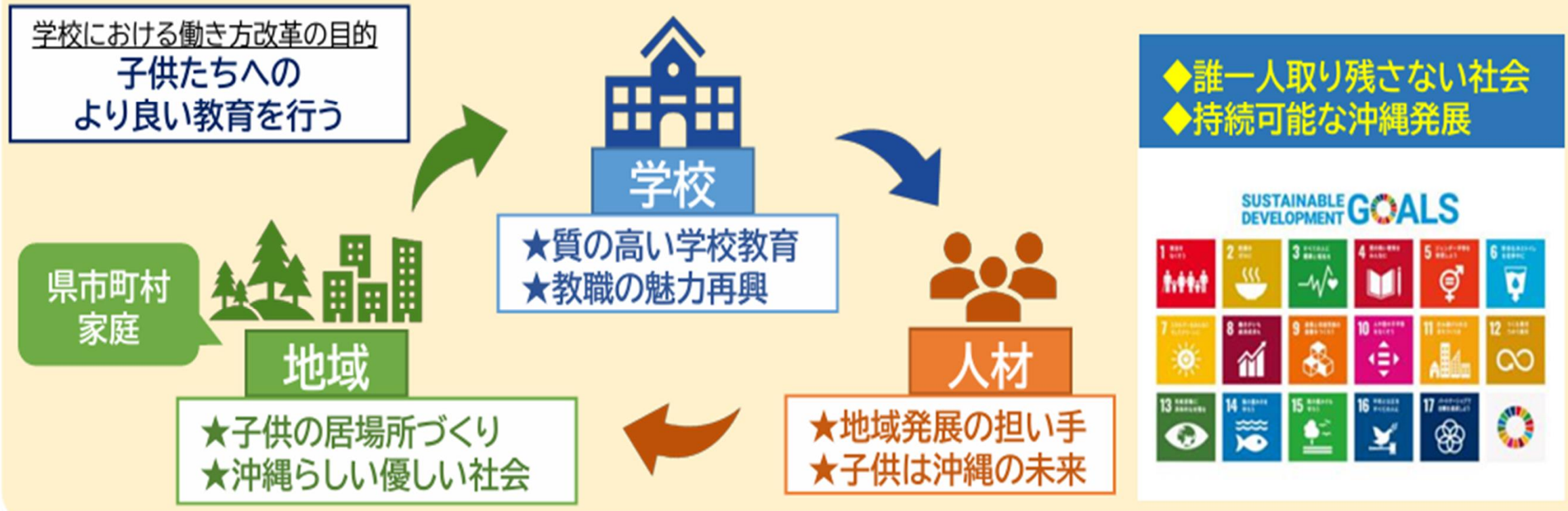
★ 教職員が忙しすぎることは、子供たちのためにならない

 学校における働き方改革の推進が必要不可欠

# ★ 学校における働き方改革推進により時間と機会が創出

👉 自立した学習者の育成（「生涯学習社会」の実現）

## 学校における働き方改革の実現による沖縄県の未来像



# 1 学校における働き方改革は、

■ どこを目指すのか？

■ **なぜ、推進するのか？**

■ どのように、推進するのか？

# 2 学校における働き方改革の着実な推進に向けて …

① 人口**推**移と今後の予測（これから）

# ■ なぜ、推進するのか？

# ① 人口推移と今後の予測（これから）



「厚生労働白書」（厚生労働省）より抜粋

## 平成25年度

日本で一日に起こる出来事の数調べてみました。  
それぞれの直近の数字である。(平成22年～平成24年)

### 人口について



▶ 生まれるのは?  
**2,834人**

人口の減少数は  
1日当たりだと  
**598人**

▶ 亡くなるのは?  
**3,432人**

- がんでは? ..... 986人
- 心疾患では? ..... 543人
- 脳血管疾患では? ..... 332人
- 事故では? ..... 112人
- 工作中的事故では? ..... 3人
- 老衰では? ..... 166人
- 自殺では? ..... 76人

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/18-3/dl/02.pdf>

人口の減少数は **1日当たり598人**

## 令和5年度

日本で一日に起こる出来事の数調べてみました。  
それぞれの直近の数字である。(平成28年～令和4年)

### 人口について



▶ 生まれるのは?  
**2,112人**

人口の減少数は  
1日当たりだと  
**2,187人**

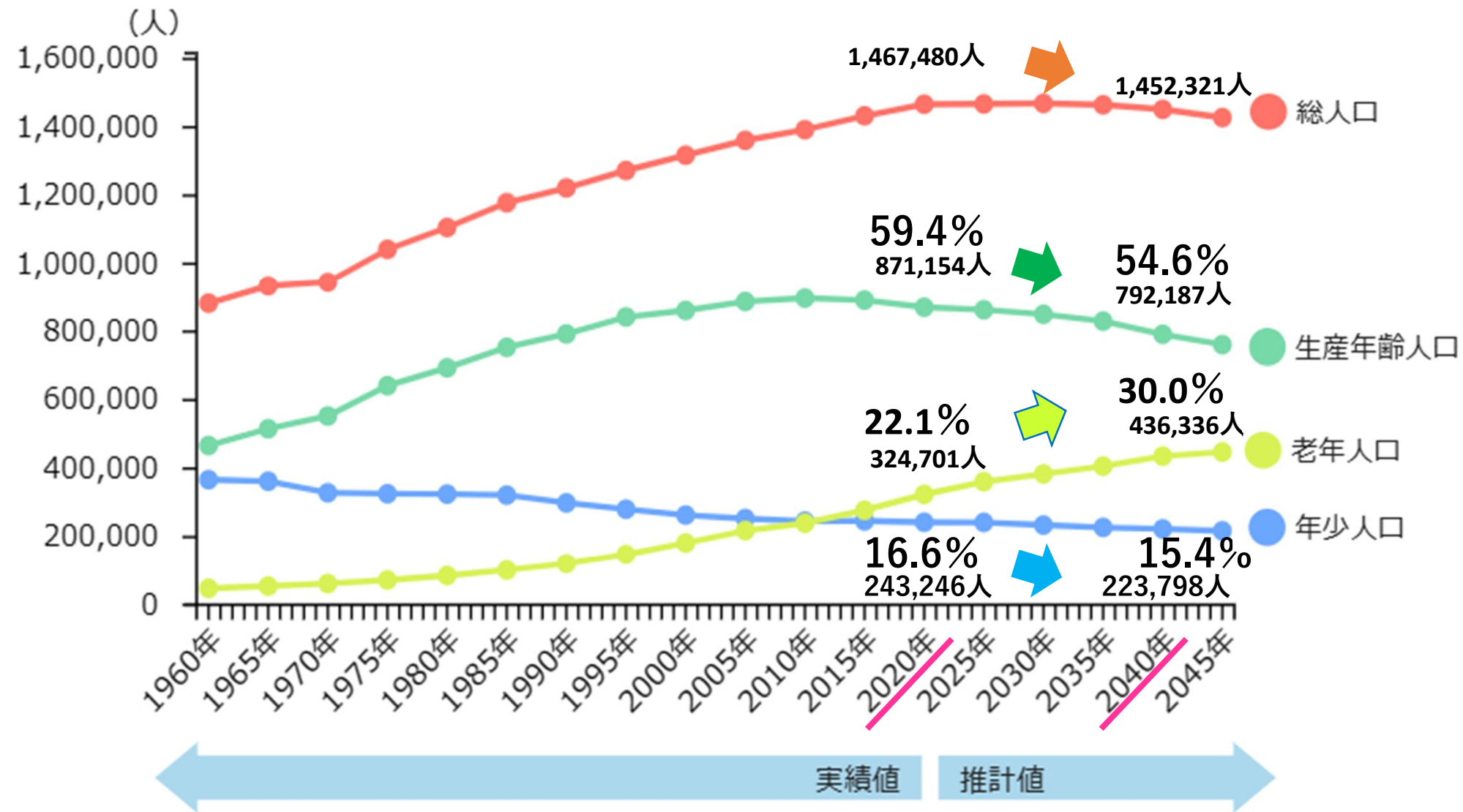
▶ 亡くなるのは?  
**4,299人**

- がんでは? ..... 1,057人
- 心疾患では? ..... 638人
- 脳血管疾患では? ..... 294人
- 事故では? ..... 119人
- 工作中的事故では? ..... 2人
- 老衰では? ..... 492人
- 自殺では? ..... 60人

<https://www.mhlw.go.jp/wp/hakusyo/kousei/22-3/dl/02.pdf>

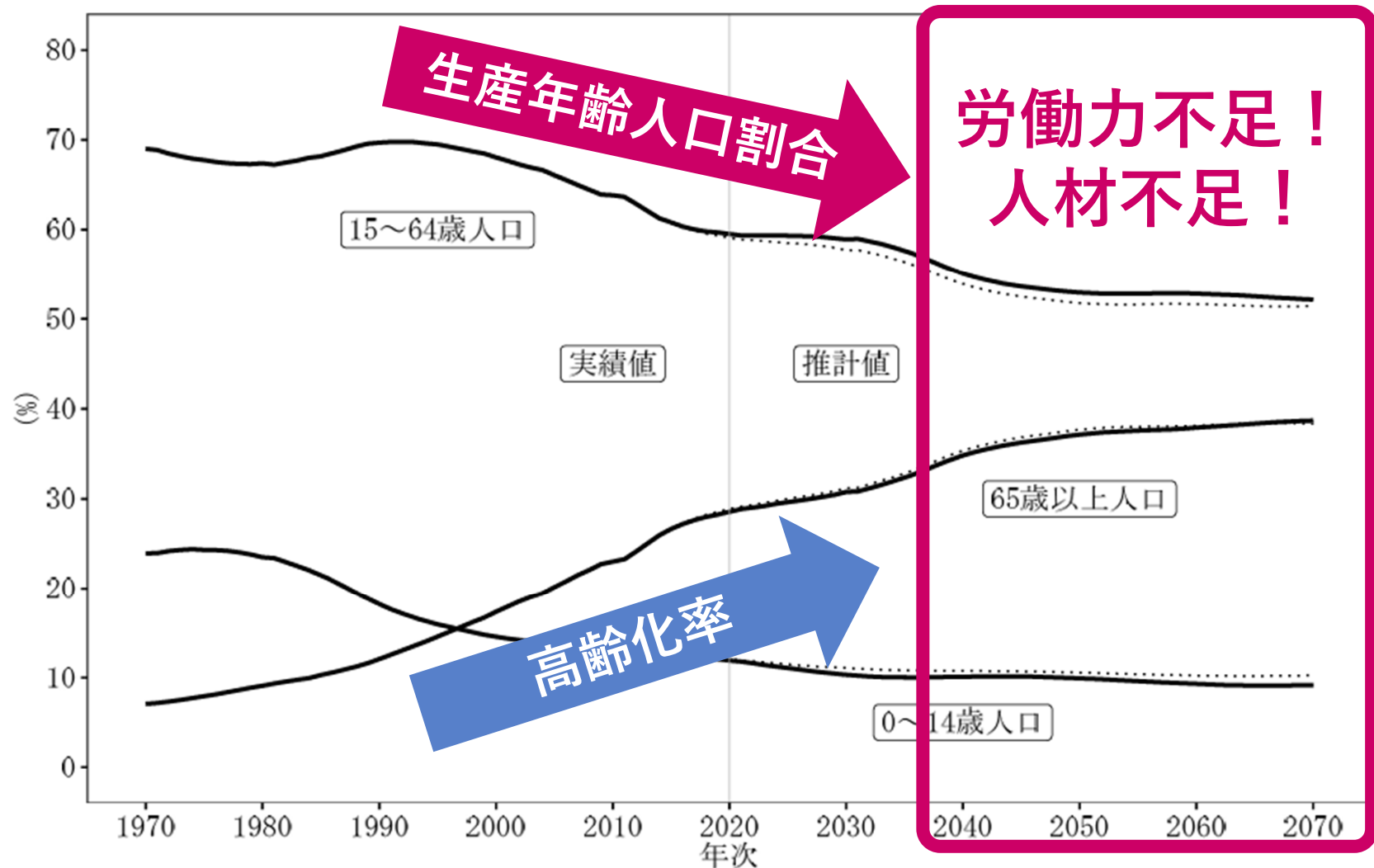
人口の減少数は **1日当たり2,187人**

◆ 沖縄県の人口推移 ◆



- ✓ 高齢化率が高くなる
- ✓ 生産年齢人口の減少が課題

図1-4 年齢3区分別人口割合の推移 —出生中位（死亡中位）推計—



### 我が国の労働市場

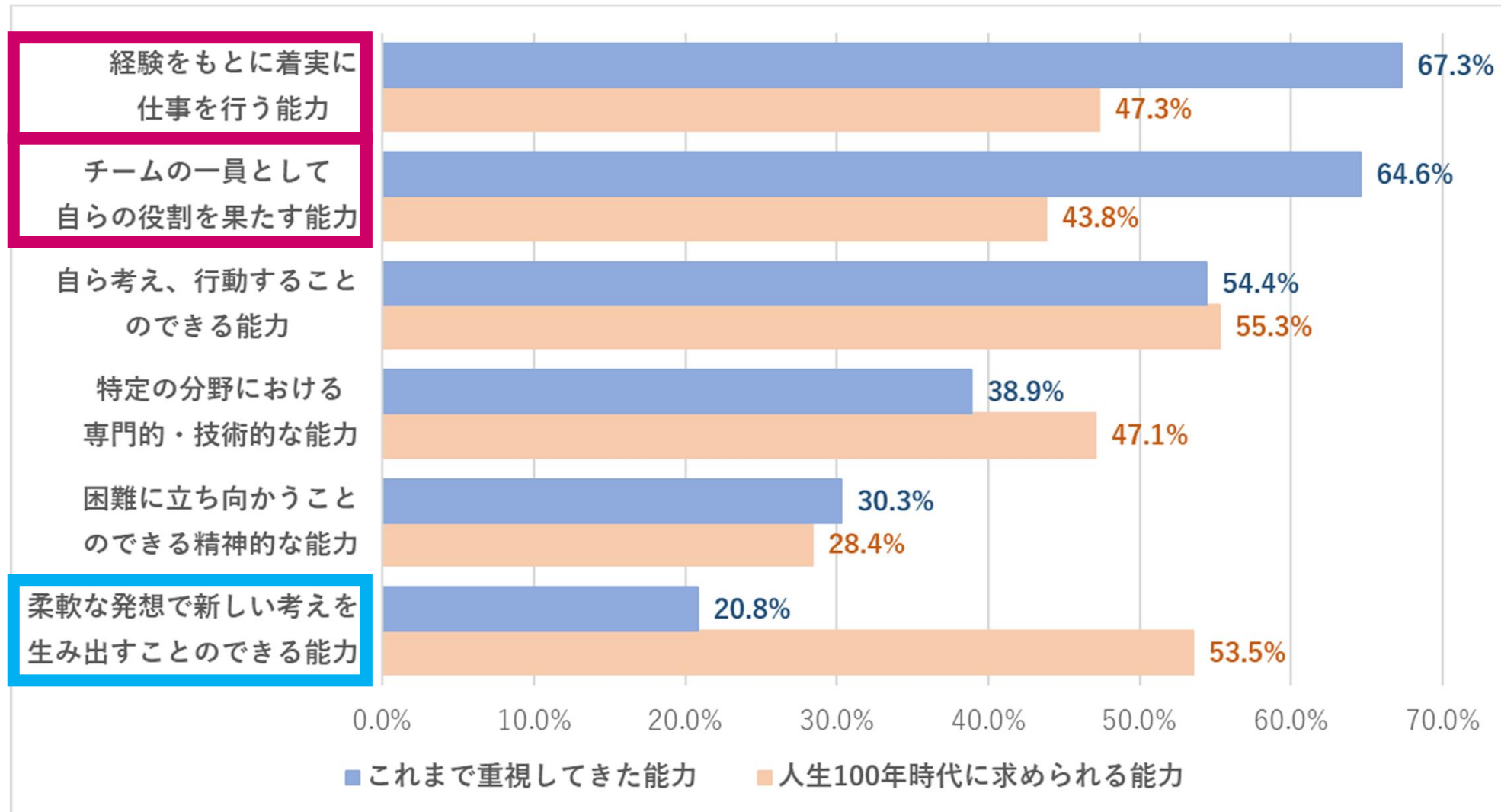
👉 少子高齢化に伴う  
**生産年齢人口**や  
新規学卒者数の  
**減少**

👉 今後、**労働力の供給に制約が生じる**ことが想定

【参考】令和4年版労働経済の分析より引用（厚生労働省）

破線は前回中位推計。

### これまで重視してきた能力と人生100年時代に求められる能力



(注) 企業に対する調査で複数回答。

(資料出所) 独立行政法人労働政策研究・研修機構「人生100年時代のキャリア形成と雇用管理の課題に関する調査」(2020年12月)を基に、沖縄県教育庁働き方改革推進課において作成 (<https://www.jil.go.jp/institute/research/2020/206.html>)



② 働き方改革の経緯 (これまで)

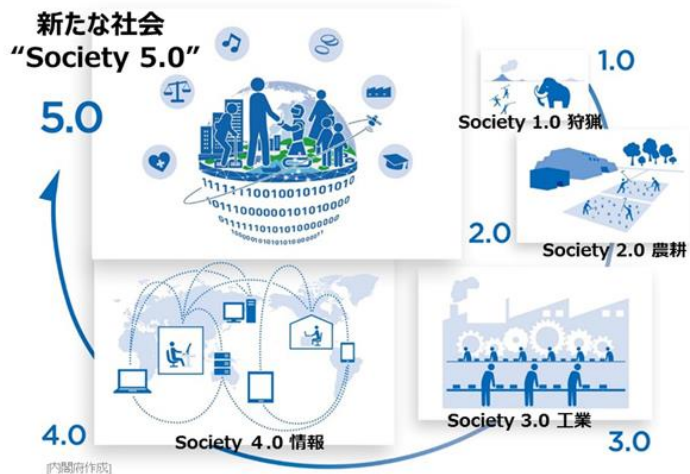
### 2015年



【資料】おきなわSDGsアクションプランより抜粋

### 2016年

● 若者雇用促進法  
(平成27年9月18日公布)



【資料】内閣府HPより抜粋 [https://www8.cao.go.jp/cstp/society5\\_0/](https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/)

### 2017年

● 人生100年時代  
(人生100年時代構想会議 内閣府)

→ 2018年 ● 働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律 (平成30年7月6日公布)

- ・ 時間外労働の上限規制
- ☞ 原則として 月45時間、年360時間

#### ■ 時間外・休日労働時間と健康障害リスクの関係

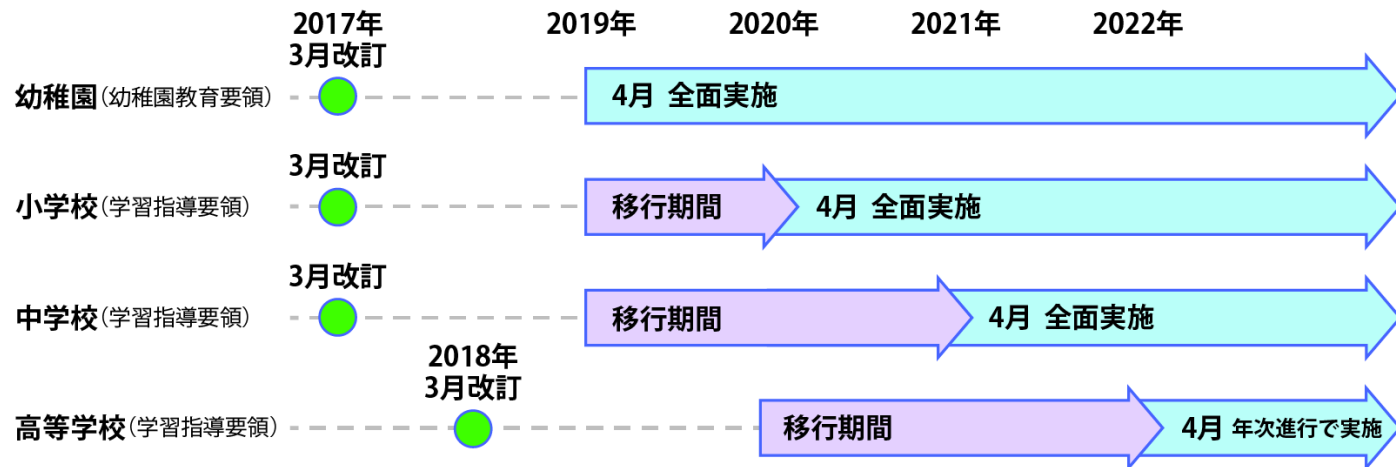


【資料】厚労省：過労死等防止啓発パンフレットより抜粋

さらに教育現場では・・・

2017年  
3月～

● 学習指導要領改訂



【参照】 政府広報オンライン 教育・学び より抜粋 <https://www.gov-online.go.jp/useful/article/201903/2.html>

2019年

● 学校における働き方改革に関する取組の徹底について

(文部科学省通知 平成31年3月18日)

・ 勤務時間と健康管理を意識した働き方の推進

☞ 時間外在校等時間の上限

原則として、月45時間、年360時間

2020年 ● WHOが新型コロナウイルス感染症について  
「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」を宣言

👉 感染症法上の位置付けが2類

◆ コロナ禍における教育活動

👉 GIGAスクール構想推進の整備が急速に進む

◆ 登校が難しい児童生徒への対応

👉 ICTを活用したオンライン授業等が進む

2023年 ● WHOが上記の緊急事態の宣言を終了

👉 感染症法上の位置付けが5類感染症へ

## 2022年 ● 民法の一部を改正する法律（成年年齢関係）

（令和4年4月1日施行）

民法の成年年齢 👉 20歳から18歳に引き下げ



<https://www.moj.go.jp/content/001300586.pdf>

## 2023年 ● 【文部科学省】 第4期教育振興基本計画

- ・ 2040年以降の社会を展望
- ・ マルチステージの人生
- ・ 生涯にわたって学び続ける学習者の育成

- ・ 持続可能な社会の創り手の育成
- ・ 「協調と調和」に基づくウェルビーイングの向上



[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/keikaku/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/keikaku/index.htm)

👉 学びのアップデートが必要（学び続ける教職員）

③ 沖縄県の教育現場の状況（現在）

## ■ なぜ、推進するのか？

## ③ 沖縄県の教育現場の状況（現在）

### ◆ 教員未配置状況

■ 令和6年4月から6月 → 23名増加

校種	4月	6月
小学校	3名	15名
中学校	5名	6名
高等学校	3名	10名
特別支援学校	1名	4名

#### ★教職における魅力の向上

- ✓ 人材発掘・確保・採用
- ✓ 教職の希望者の育成

### ◆ 業務の多忙化

- ・ 時間外勤務80時間以上の教職員

月平均割合 (月平均人数)	R3	R4
市町村立 小・中学校	2.9% (285.9人)	<u>2.7%</u> (276.3人)
県立学校	2.0% (116.6人)	<u>2.6%</u> (147.4人)

#### ★長時間勤務の是正

- ✓ 思い切った業務改善
- ✓ メンタルヘルス対策



**人材確保と持続可能性（健康を守る勤務環境等）が大切**



## ◆ 『学校における働き方改革アンケート（2023）』の回答状況

小学校	中学校	高等学校	特別支援
✓徴収金の徴収・管理・会計等	✓徴収金の徴収・管理・会計等	✓徴収金の徴収・管理・会計等	✓徴収金の徴収・管理・会計等
✓PTA関連業務（休日や勤務時間外の会議・活動等）	✓PTA関連業務（休日や勤務時間外の会議・活動等）	✓PTA関連業務（休日や勤務時間外の会議・活動等）	✓PTA関連業務（休日や勤務時間外の会議・活動等）
✓各種調査・報告・アンケート等への対応	✓各種調査・報告・アンケート等への対応	✓各種調査・報告・アンケート等への対応	✓各種調査・報告・アンケート等への対応
✓年度始めに実施する全児童の家庭訪問	✓部活動（日々の練習、試合引率や大会運営等）	✓部活動（日々の練習、試合引率や大会運営等）	✓部活動（日々の練習、試合引率や大会運営等）
✓草刈りや花壇の散水等の環境美化作業及び小動物の飼育作業	✓草刈りや花壇の散水等の環境美化作業	✓奨学金申請に係る業務	✓草刈りや花壇の散水等の環境美化作業
✓プールの清掃や教室のワックス掛け等の施設管理・環境整備	✓全国学力・学習状況調査や全県的なテスト等の採点・入力作業	✓年度末の高校入試業務	✓トイレの清掃や教室のワックス掛け等の施設管理・環境整備
✓学期毎の通知表（よい子のあゆみ等）の作成や成績処理	✓学期毎の通知表の作成や成績処理	✓生徒指導（身なり指導や勤怠指導、SNSトラブルの対応等）	✓登下校時の車両誘導・安全管理のための立ち番指導等
✓勤務時間外や校外での生徒指導・保護者対応（SNSトラブルを含む）及び夜間街頭パトロール等	✓勤務時間外や校外での生徒指導・保護者対応（SNSトラブルを含む）及び夜間街頭パトロール等	✓勤務時間外や校外での生徒指導・保護者対応（SNSトラブルを含む）及び夜間街頭パトロール等	✓週案や年間指導計画、通知表等の書類作成
✓教育課程外の地域行事・地区競技会・大会等の参加・運営等	✓教育課程外の地域行事・地区競技会・大会等の参加・運営等	✓情報機器・ネットワーク管理等の対応業務	✓情報機器・ネットワーク管理等の対応業務
✓勤務時間前の登校指導・安全管理や朝の委員会活動等	✓教育課程外の各種検定試験の実施	✓教育課程外の講座や小論文・面接指導、各種検定・模試等の実施	✓校外・校内研修や研究会活動・研究紀要作成



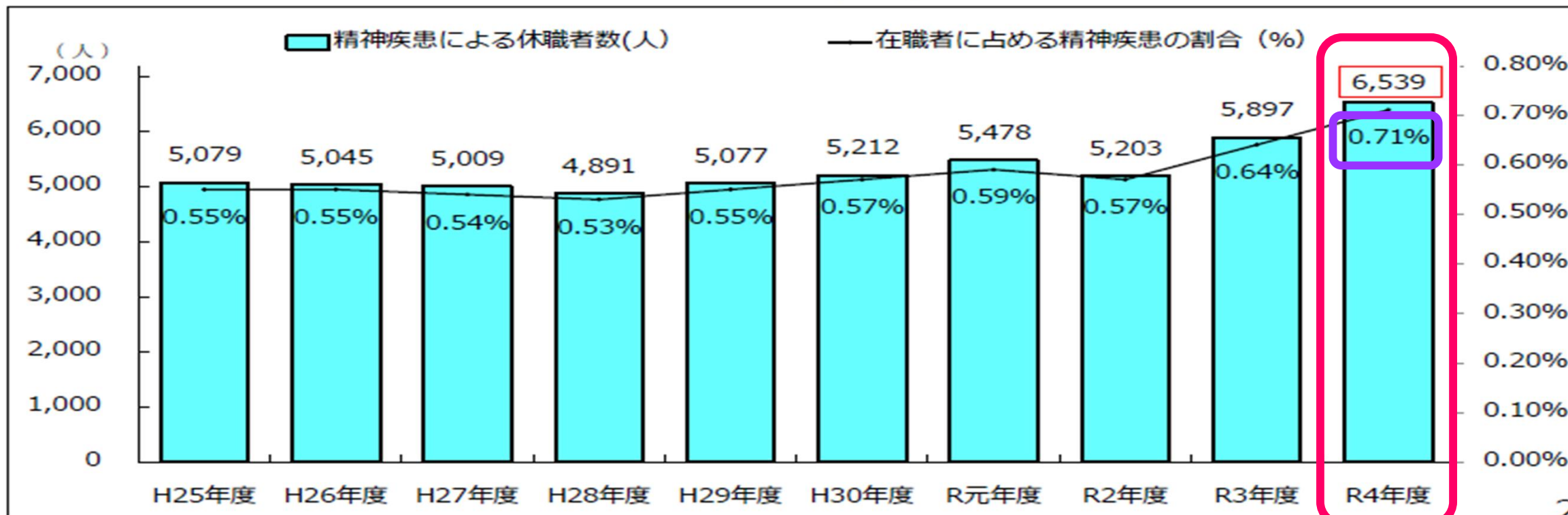
## 教育職員の精神疾患による病気休職者数 (令和4年度)



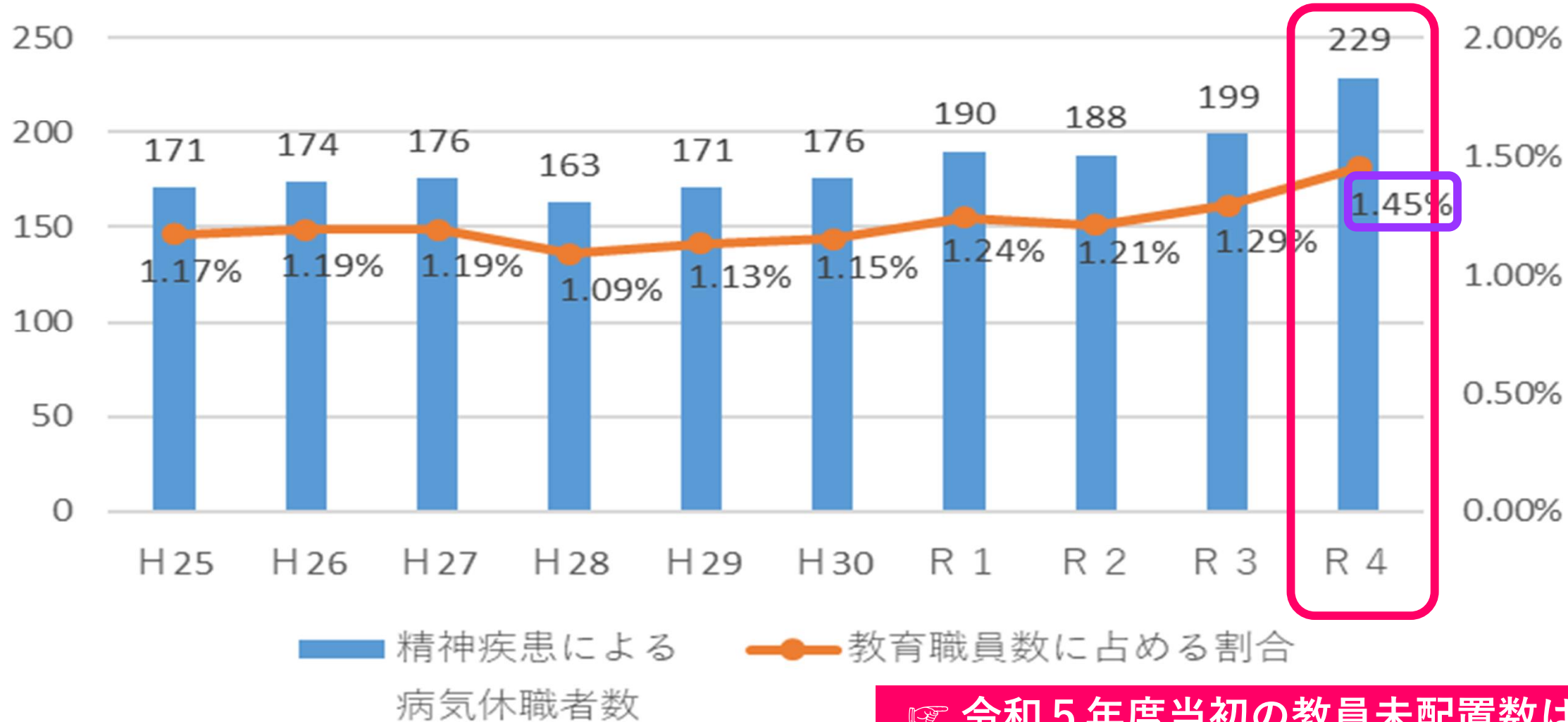
○教育職員(※)の精神疾患による病気休職者数は、6,539人(全教育職員数の0.71%)で、令和3年度(5,897人)から642人増加し、過去最多。

(※) 公立の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校における校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、助教諭、講師、養護助教諭、実習助手及び寄宿舎指導員 (総計918,987人(令和4年5月1日現在))

教育職員の精神疾患による病気休職者数の推移 (平成25年度～令和4年度)



＜沖縄県の精神疾患による病気休職者数と教育職員数に占める割合の推移＞



👉 令和5年度当初の教員未配置数は23



心身の健康の確保 (安全・快適な職場環境の形成)

「教職員の**厳**しい勤務環境の改善」

5年後、10年後の学校は・・・？

これからも

「**教職員が選**ばれ続ける職業」

「**学校が選**ばれ続ける職場」

であるためには？

## 【働き方改革推進課】

（令和5年度4月設置）

### < 特命 >

☆ 健康管理班



教職員のメンタルヘルス対策の充実

☆ 働き方改革班



学校における働き方改革の推進

子供たちのために、教職員が“働きやすく”、  
“働きがい”を感じることのできる教育環境の整備！